

平成 1 7 年度

相模原市立博物館 年報

神奈川県博物館協会創立50周年記念事業



10年に1度、開きます。



開館10周年記念秋季特別展



博物館
10年の歩み

2005年10月8日(土) - 12月11日(日)

■ 開催時間：午前10時30分～午後3時
■ 会場：特別展示室(一部、特別展示室外にも展示があります)
■ 休館日：月曜日(ただし、10月10日(祝)は開館)
及び10月11日(火)・10月12日(水)・11月4日(金)・11月24日(木)
■ 観覧料：無料



相模原市立博物館

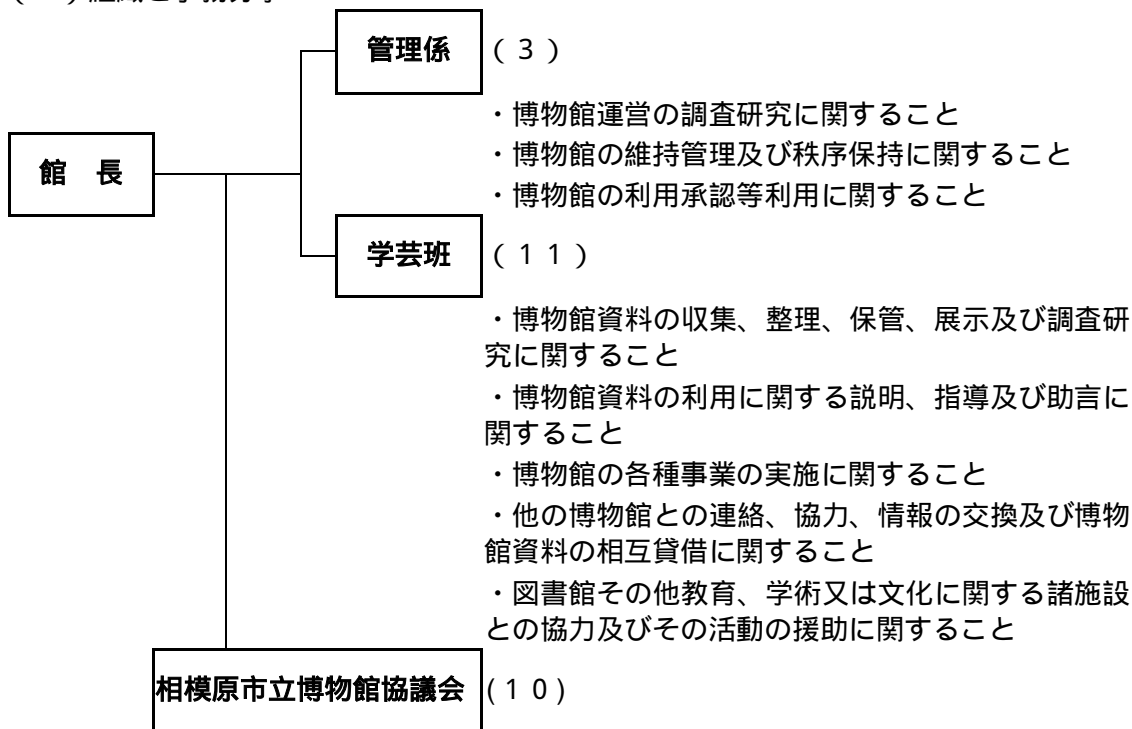
SAGAMIHARA CITY MUSEUM

平成 1 8 年 4 月 1 日

管理運営

1 組織及び職員

(1) 組織と事務分掌



(2) 職員 (平成18年3月31日現在)

館長	参事 (兼) 館長	井上 進
管理係	主幹 (兼) 管理係長 主査 主任	吉川 次郎 不動田 とし子 久万 真彦
学芸班	担当課長 (学芸班担当)(学芸員) 副主幹 (学芸員) 指導主事 指導主事 主査 (学芸員) 主任 (学芸員) 主任 主任 (学芸員) 主事 (学芸員) 主事 (学芸員) 主事	杉本 芳秋 (天文担当) 守屋 博文 (動物担当) 平能 克泰 (天文担当) 大塚 善行 (地理担当) 加藤 隆志 (民俗担当) 秋山 幸也 (植物担当) 上田 幸枝 (歴史担当) 河尻 清和 (地質担当) 河本 雅人 (考古担当) 塩谷 裕久 (情報担当) 多田 大介 (天文担当)

なお、学習指導員として嘱託職員2名、図書整理として非常勤職員2名、受付案内業務は(財)相模原市都市整備公社に委託し8名、プラネタリウム投影業務の一部は(株)東急コミュニティーに委託し5名が配属されている。

2 博物館協議会

(1) 趣旨

博物館法に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関。

(2) 委員構成

氏名	備考	選出区分
松原 和美	小学校教諭	学校教育
藤田 由美子	中学校教諭	
坂口 滋皓	高等学校教諭	
戸塚 厚生	市文化財研究協議会 副会長	社会教育
高橋 美紀	市立小中学校PTA連絡協議会	
中村 ひろ子	神奈川大学大学院特任教授	学識経験者
松島 義章	玉川大学非常勤講師 会長	
小杉 健郎	宇宙科学研究本部教授	
新井 正雄	一般公募	
太田 由紀		

任期は平成15年11月20日～平成17年11月19日

氏名	備考	選出区分
山岡 幸介	小学校教諭	学校教育
高倉 裕明	中学校教諭	
坂口 滋皓	高等学校教諭 会長	
金指 元憲	市文化財研究協議会	社会教育
横山 由佳	市立小中学校PTA連絡協議会	
中村 ひろ子	神奈川大学大学院特任教授	学識経験者
松島 義章	放送大学客員教授	
小杉 健郎	宇宙科学研究本部教授 副会長	
中山 魁	一般公募	
横山 健三		

任期は平成17年11月20日～平成19年11月19日

(3) 任期 2年

(4) 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	6月7日(火)	平成16年度事業結果報告 平成17年度事業予算 シンボルマークの決定
2	8月3日(水)	「今後の博物館の活動について」まとめ

3	12月6日(火)	会長及び副会長の選出 博物館協議会の概要説明とこれまでの活動内容 博物館の概要
4	2月9日(木)	第5期博物館協議会提言「今後の博物館の活動について」 に対する当館の取り組みについて 今期博物館協議会の協議事項について

3 施設

(1) 施設概要

敷地面積	9999.48㎡
構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋造
規模	地下1階・地上3階建て
建築面積	5081.03㎡
延床面積	9510.24㎡

(2) 施設管理

施設の設備管理、警備、清掃業務は外部委託している。

消防訓練 5月10日(臨時休館日) 10月13日(臨時休館日)

平成17年度相模原市立博物館年報

4 予算

平成17年度予算

(単位：千円)

款	項	目	科目名	本年度予算額	前年度予算額	比較	財源内訳	
50	20	05	生涯学習施設 維持補修費	5,350	0	5,350	一般財源	5,350
							特定財源	0
50	20	40	博物館費	251,927	261,834	-9,907	一般財源	239,325
							特定財源	17,952
計				257,277	261,834	-4,557		

生涯学習施設維持補修費				
節		説明		
区分	金額	博物館の維持補修に要する経費		
1 1 需用費	5,350	経費内訳		
			1 7 年度	1 6 年度
		1 施設修繕料	5,350	0
	計 5,350		計	5,350
博物館費				
節		説明		
区分	金額	博物館の運営及び維持管理に要する経費		
0 1 報酬	504	経費内訳		
			1 7 年度	1 6 年度
0 8 報償費	9,638	1 博物館協議会経費	537	535
0 9 旅費	673	2 市制50周年記念事業	0	9,114
1 1 需用費	63,366	3 施設運営費	91,291	86,018
1 2 役務費	957	(1) 資料収集保存経費	7,588	5,471
1 3 委託料	142,688	(2) 資料調査研究経費	3,912	3,751
1 4 使用料及び賃借料	22,582	(3) 展示・教育普及事業経費	19,020	13,745
1 8 備品購入費	10,860	(4) プラネタリウム事業経費	60,344	62,603
1 9 負担金、補助及び交付金	632	(5) その他運営費	427	448
2 7 公課費	27	4 施設維持管理費	159,417	157,733
		5 施設維持補修費	0	7,800
		6 一般事務費	682	634
	計 251,927		計	251,927
	合計 257,277		合計	261,834
			合計	257,277
				261,834

平成16年度博物館費内の施設維持補修費は、17年度生涯学習施設維持補修費に科目名を変更。

教育普及

1 入館者数

(1) 平成17年4月1日～平成18年3月31日

総計 116,552人

(2) 各月ごとの詳細と累計は次のとおり

月	入館者総数	プラネ総数	一般投 影計	全天周 映画	学習投 影計	特別展 総数	星空観 望会	講座講 演会	プラネ観覧料	開館日	1日 平均
17年4月	6,584	2,648	1,008	1,481	159	3,837	53	188	784,000	26	253
5月	8,776	3,914	1,281	2,106	527	5,006	26	297	1,146,040	24	366
6月	9,429	3,450	955	1,214	1,281	3,629	-	390	726,140	26	363
7月	10,706	4,712	2,131	2,103	478	1,031	66	481	1,379,740	27	397
8月	16,819	9,384	4,635	4,749	-	4,112	185	668	2,835,460	26	647
9月	8,128	3,491	1,587	1,452	452	406	99	195	1,054,460	26	313
10月	10,729	4,829	1,794	2,392	643	3,974	138	194	1,377,870	25	429
11月	12,810	6,453	1,823	2,239	2,391	6,371	47	1,106	733,400	24	534
12月	6,171	3,201	681	784	1,736	2,350	128	229	476,400	23	268
18年1月	8,303	3,469	1,127	1,294	1,048	4,796	14	313	760,520	24	346
2月	10,013	3,991	1,216	1,054	1,721	7,967	58	970	781,940	24	417
3月	8,084	2,924	1,166	1,355	403	4,000	30	694	720,310	26	311
17年度計	116,552	52,466	19,404	22,223	10,839	47,479	844	5,725	12,776,280	301	387
総計	1,249,411	544,941	216,422	219,299	109,220	432,263	9,744	49,995	146,382,100	3,114	

開館からの総計、過年度毎計(参考)

7年度	78,395	38,262	16,796	12,688	8,778	22,199	618	836	11,099,520	107	733
8年度	125,599	58,023	26,849	20,571	10,603	36,682	1,237	3,186	18,187,120	300	419
9年度	105,793	43,355	18,654	16,055	8,646	28,388	1,104	3,167	12,233,880	300	353
10年度	107,306	45,038	18,577	17,747	8,714	24,779	624	5,696	12,820,900	299	359
11年度	115,031	53,660	20,759	23,651	9,250	36,670	665	5,255	15,325,720	295	390
12年度	111,161	46,879	17,302	18,777	10,800	31,658	634	5,258	11,921,600	302	368
13年度	132,776	59,062	20,169	28,312	10,581	57,647	910	4,574	14,329,780	305	435
14年度	119,068	48,791	19,702	18,277	10,812	55,672	925	4,277	12,221,160	303	393
15年度	126,120	53,625	18,655	24,859	10,111	51,538	1,133	6,873	13,904,050	302	418
16年度	111,610	45,780	19,555	16,139	10,086	39,551	1,050	5,148	11,562,090	300	372

2 特別展・企画展・学習資料展等

(1) 企画展「プールの生きもの - 秋・冬・春 - 」

内容 小学校のプールで確認された生きものを標本や生体、写真で展示するとともに、プールの生きものを利用した学校での様々な活動を紹介した。

期間 〔3月26日(土)〕～平成17年6月19日(日)

観覧料 無料

観覧者 13,576人(うち17年度分12,472人)

印刷物 ポスター550枚、チラシ8,000枚、リーフレット10,000部

関連事業

4月 3日(日) 展示解説 参加者：26人

- 4月17日(日) 展示解説 参加者：30人
4月24日(日) 日曜講演会「プールの生きもの調査から」 参加者：56人
5月15日(日) 展示解説 参加者：18人
5月21日(土) プールの生きもの観察会 参加者：13人
5月28日(土) プールの生きもの観察会 参加者：15人
5月29日(日) 展示解説 参加者：22人
6月4日(土) プールの生きもの観察会 参加者：13人
6月12日(日) 展示解説 参加者：30人
講師・解説は全て 守屋博文(当館学芸員)

(2) 特別展「地球46億年 - 顕微鏡で見る地球誕生のころ - 」

内容 地球誕生から生命が誕生した頃にスポットを当て、隕石の薄片標本や単細胞生物などの標本を顕微鏡で見るという手法を使って紹介した。

期間 7月23日(土)～9月4日(日)

観覧料 大人300円、高校生以下・65歳以上・障害者とその介護者・ひとり親家庭の方は無料

観覧者 5,531人

印刷物 ポスター500枚、チラシ10,000枚、図録1,000部

関連事業

- 7月24日(日) 楽しい実演コーナー 参加者：51人
講師 廣川隆彦氏
(県産業技術総合研究所生物学チーム主任研究員)
- 7月30日(土) 展示解説 参加者：14人
解説 杉本芳秋(当館学芸員)
- 7月31日(日) 楽しい実演コーナー 参加者：40人
講師 宮田忠勝(前県立弥栄西高校教諭)
- 8月7日(日) 記念講演会「顕微鏡で宇宙をのぞいてみよう」 参加者：62人
講師 河崎行繁氏(元三菱生命科学研究所)
- 8月14日(日) 楽しい実演コーナー 参加者：54人
講師 西山俊彦
(市相模川自然の村野外体験教室「若あゆ」指導主事)
- 8月20日(土) 展示解説 参加者：20人
解説 杉本芳秋(当館学芸員)
- 8月21日(日) 楽しい実演コーナー 参加者：47人
講師 杉本芳秋(当館学芸員)
- 8月28日(日) 楽しい実演コーナー 参加者：40人
講師 今井正巳(市立由野台中学校教諭)
- 9月4日(日) 楽しい実演コーナー 参加者：46人
講師 青木正利(市総合学習センター指導主事)

また毎週火・金曜に展示活動協力員による「電子顕微鏡でのぞくミクロな世界」を実施。

(3) 開館10周年記念特別展「博物館10年の歩み」

内容 博物館の10年の歩みを振り返りながら、博物館が果たしている資料の収集保管など多くの役割について広く紹介した。(実際の展示は全ての分野で分担して実施。)

期間 10月8日(土)～12月11日(日)

観覧料 無料

観覧者 12,740人

印刷物 ポスター1,300枚、ちらし16,000枚、リーフレット15,000部

関連事業

- 10月9日(日) 動物の日「昆虫標本の作製」
講師 加藤房郎(博物館資料整理員) 守屋博文(当館学芸員)
- 10月10日(月) 考古の日「のぞいてみよう土器や石器の整理作業」
講師 河本雅人(当館学芸員)
- 10月15日(土) 地質の日「ローム層の中の鉱物を見てみよう」
講師 河尻清和(当館学芸員)
- 10月16日(日) 民俗の日「モノの扱い方を知ろう」
講師 加藤隆志(当館学芸員)
- 10月19日(水) 天文の日「プラネタリアムの裏側見せます」
講師 村山孝一、高木右京(当館プラネタリアム解説員)
天文の日「天文台公開」
講師 平能克泰(当館指導主事) 多田大介(当館職員)
- 10月21日(金) 歴史の日「あなたのお宅の古文書読みます」
講師 御用留を読む会
- 10月22日(土) 考古の日「のぞいてみよう土器や石器の整理作業」
講師 河本雅人(当館学芸員)
- 10月23日(日) 地理の日「実体視してみよう」
講師 展示活動協力員
- 10月29日(土) 植物の日「植物標本を作ろう」
講師 相模原植物調査会
- 10月30日(日) 考古の日「のぞいてみよう土器や石器の整理作業」
講師 河本雅人(当館学芸員)
- 11月3日(木) 動物の日「川の生きもの観察コーナー」
講師 水生動物調査会
- 11月5日(日) 地理の日「実体視してみよう」
講師 展示活動協力員
- 11月6日(日) 地質の日「いろいろな砂を顕微鏡で見てみよう」
講師 河尻清和(当館学芸員)
- 11月9日(水) 天文の日「プラネタリアムの裏側見せます」
講師 村山孝一、高木右京(当館プラネタリアム解説員)
天文の日「天文台公開」
講師 平能克泰(当館指導主事) 多田大介(当館職員)
- 11月12日(土) 歴史の日「あなたのお宅の古文書読みます」
講師 さがみ古文書の会
- 11月13日(日) 民俗の日「モノの扱い方を知ろう」
講師 加藤隆志(当館学芸員)
- 11月19日(土) 博物館の日 後述
- 11月20日(日) 博物館の日 後述
- 11月23日(水) 植物の日「ふしぎなタネの世界」
講師 相模原植物調査会
- 11月26日(土) 歴史の日「あなたのお宅の古文書読みます」
講師 古文書を読む会
- 11月27日(日) 地質の日「砂の中の小さな化石を見つけよう」
講師 河尻清和(当館学芸員)
- 11月30日(水) 天文の日「プラネタリアムの裏側見せます」
講師 村山孝一、高木右京(当館プラネタリアム解説員)
天文の日「天文台公開」

- 12月 3日(土) 植物の日「きょうは葉っぱの日」
 講師 平能克泰(当館指導主事) 多田大介(当館職員)
- 12月 4日(日) 地理の日「実体視してみよう」
 講師 相模原植物調査会
- 12月10日(日) 民俗の日「モノの扱い方を知ろう」
 講師 展示活動協力員
- 12月11日(日) 動物の日「昆虫標本の作製」
 講師 加藤隆志(当館学芸員)
- 12月11日(日) 動物の日「昆虫標本の作製」
 講師 加藤房郎(博物館資料整理員) 守屋博文(当館学芸員)

特別事業

開館10周年記念として、開館記念日である11月20日(日)とその前日19日(土)を「博物館の日」と称し特別事業を実施した。

- 11月19日(土) 入館者数(参考) 2,303人
 全天周映画無料上映 参加者: 840人
 常設展示解説 参加者: 18人
 解説 当館学習指導員
 バックヤード公開 参加者: 60人
 解説 当館学芸員
 常設展示クイズラリー 参加者: 419人
 受付案内 展示活動協力員
- 11月20日(日) 入館者数(参考) 1,747人
 プラネタリウム無料投影 参加者: 970人
 常設展示解説 参加者: 22人
 解説 当館学習指導員
 バックヤード公開 参加者: 39人
 解説 当館学芸員
 常設展示クイズラリー 参加者: 391人
 受付案内 展示活動協力員
 ミニコンサート 参加者: 60人
 演奏 弥栄東高校音楽コース

(4) 学習資料展「～大地さんと未来さんが見つける～ちょっと昔のくらし2」

内容 収蔵されている資料の中から、学校の授業で活用できるような道具やモノを展示し、昔のくらしについて紹介した。

期間 1月14日(土)～3月12日(日)

観覧料 無料

観覧者 15,729人

印刷物 ポスター600枚、チラシ20,000枚

関連事業

- 1月15日(日) チャレンジ体験 参加者: 65人
 講師 大塚善行(当館指導主事) 当館学習指導員
- 1月22日(日) 展示解説 参加者: 20人
 解説 大塚善行(当館指導主事)
- 1月29日(日) わらぞうり作り教室 参加者: 40人
 講師 麻溝地区老人クラブ連合会
- 2月 5日(日) チャレンジ体験 参加者: 120人
 講師 大塚善行(当館指導主事) 当館学習指導員
- 2月12日(日) わらぞうり作り教室 参加者: 40人

- 講師 麻溝地区老人クラブ連合会
2月19日(日) 展示解説 参加者：10人
解説 大塚善行(当館指導主事) 当館学習指導員
2月26日(日) チャレンジ体験 参加者：80人
講師 大塚善行(当館指導主事)
3月5日(日) 展示解説 参加者：35人
解説 大塚善行(当館指導主事)
3月12日(日) チャレンジ体験 参加者：55人
講師 大塚善行(当館指導主事) 当館学習指導員

- (5) 企画展「相模野台地の火山灰～火山灰の地層を調べよう～」
市域の相模野台地に分布する関東ローム層や中津層群中の火山灰層について紹介した。
期間 3月25日(土)～〔平成18年6月18日(日)〕
観覧料 無料
観覧者 1,034人(17年度中)
印刷物 ポスター750枚、チラシ20,000枚、リーフレット15,000部
関連事業
17年度中はなし。

3 講座・講演会・教室・観望会等の事業

- (1) 民俗講座「道祖神を調べる会」(14～17年度継続事業)
内容 月に1回程度、当館や他施設での講義並びにフィールドワークを通じて道祖神について学習し、併せて市域の団子焼きを参加者自身が調査して、博物館の基礎データを作成した。
なお、講座参加者の有志が「サヘノカミの会」を結成し、開館10周年記念特別展の民俗分野の一部の展示を行った。
実施日 4月3日(日) 第30回 ～3月5日(日) 第40回
参加者 延べ 311人 (平成17年度参加人数)
講師 加藤隆志(当館学芸員)
- (2) 動物講座「川の生きものを調べよう」
内容 河川にはどのような生き物が生息しているのかを、観察や採集により学んだ。
実施日 4月9日(土)～5月14日(土)全4回
参加者 延べ 25人
講師 守屋博文(当館学芸員)
- (3) フィールドワーク「境川流域を歩く」(16～17年度継続事業)
内容 境川流域の地域に存在する寺社や石仏などを見学しながらフィールドワークを実施し、源流部から河口まで歩いた。
実施日 4月16日(土)～1月21日(土)
参加者 延べ 262人 (平成17年度参加人数)
講師 加藤隆志(当館学芸員)
- (4) 博物館日曜講演会(第36回～第47回)
内容 毎月第4日曜日に外部研究者や当館学芸員等の講演、成果発表を行い、幅広い学術的視点や今日的課題等の学習機会を提供した。

第36回「プールの生きものたち - 市内小学校の調査から - 」

講師 守屋博文(当館学芸員)

第37回「相模川が結ぶ上流と下流の暮らし」

講師 堀内真氏(富士吉田市歴史民俗博物館学芸員)

第38回「子どもと楽しむ自然観察」

講師 藤野知弘氏(中心子どもの家所長)

第39回「神話から見た縄文時代」

講師 吉田敦彦氏(学習院大学名誉教授)

第40回「池上幸豊の生涯と事業 - 相模野の新開場見立 - 」

講師 望月一樹氏(川崎市市民ミュージアム学芸員)

第41回「『昔の暮らし』を展示すること」

講師 青木俊也氏(武蔵大学講師・松戸市立博物館学芸員)

第42回「『襤褸』が語る地域の文化～市民との共同作業から見えてきたこと～」

講師 佐川和裕氏(大磯町郷土資料館学芸員)

第43回「土・虫・自然・子ども」

講師 青木淳一氏(神奈川県立生命の星・地球博物館館長)

第44回「大山柏と『現代考古学』」

講師 阿部芳郎氏(明治大学教授)

第45回「日本列島の形成」

講師 河尻清和(当館学芸員)

第46回「南極隕石」

講師 小島秀康氏(国立極地研究所 南極隕石センター教授)

第47回「クモの不思議」

講師 谷川明男氏(日本蜘蛛学会)

実施日 4月24日(日)～3月26日(日)の毎月第4日曜日全12回

参加者 延べ 1,046人

(5) 子ども自然教室

内容 屋外で実際に調べたり観察したりしながら自然について学習した。

() 「足あとたんでいになろう」

() 「葉っぱであそぼう」

() 「魚やザリガニをつかまえよう」

() 「ちそうをつくろう」(荒天中止)

実施日 5月15日(日)～10月16日(日)全4回

参加者 延べ 131人

講師 守屋博文、秋山幸也、河尻清和(当館学芸員)

(6) 展示活動協力員(ボランティア)講座

内容 博物館の展示活動等へ参加するボランティアを養成した。

講座終了後、協力員の一部がさまざまな館活動に参加した。(後述)

実施日 5月27(金)～7月1日(金)全6回

参加者 延べ 52人

講師 杉本芳秋ほか当館学芸員

(7) 地質学講座「ローム層を調べよう」

内容 市内に分布するローム層やテフラ層を観察し、これらの持つ地質学的な意義を理解し、相模野台地の成り立ちを学んだ。

実施日 5月29日(日)～6月19日(日)全4回

参加者 延べ 66人
講師 河尻清和(当館学芸員)

(8) 植物学講座「地域の植生を調べる」

内容 植物群落の構造を調べ、植生図の作成方法を学んだ。

実施日 6月11日(土)～10月8日(土)全5回

参加者 延べ 139人

講師 中田春夫氏(西相模生物研究会代表)、富士堯氏(日野の自然を守る会幹事)、秋山幸也(当館学芸員)

(9) 街並みたんけん相模原

内容 小中学生が夏休みの課題や総合的な学習の時間、社会科等の調べ学習で役立てられるように相模原発展の様子や歴史を見て歩いた。

実施日 7月16日(土)～30日(土)全3回

参加者 延べ 57人

講師 遠山正紀氏(市立中央中学校教頭)、大塚善行(当館指導主事)

(10) 夏休み子ども学習相談

内容 小中学生を対象に夏の自由研究などのアドバイスをした。

実施日 7月21日(木)～8月31日(水)

参加者 延べ 64人

講師 当館指導主事、学芸員、学習指導員

(11) 子ども鉱物教室「鉱物のかたちのふしぎ」

内容 鉱物の結晶成長や結晶形などの鉱物学の初歩を学習し、鉱物への興味を深めた。

実施日 7月29日(金)、8月5日(金)全2回

参加者 延べ 65人

講師 河尻清和(当館学芸員)

(12) スターウォッチング

内容 星空を一定の条件下で観察することにより、夜間照明などの環境について目を向けるとともに広く地球規模での環境保全の対策を市民と共に考えた。

実施日 8月5日(金)、1月27日(金)全2回

参加者 延べ 50人

講師 当館天文担当学芸員、指導主事、プラネタリウム解説員
相模原の環境をよくする会(事務局:市環境対策課)との共催

(13) 原始体験講座「親子まが玉作り教室」

内容 まが玉作りを体験的に学習した。

実施日 8月6日(土)、27日(土)全2回

参加者 40人

講師 河本雅人(当館学芸員)

(14) 夏休み親子天文教室

内容 望遠鏡の仕組みを学びながら望遠鏡を工作し、天体観測まで行うことで、天文への興味を深めた。

実施日 8月9日(火)、11日(木)全2回

参加者 208人

講師 平能克泰（当館指導主事） 多田大介（当館職員）

（15）植物学講座「花の観察と植物画」

内容 植物をじっくりと科学的に観察し、それを水彩絵具で描く技法を学んだ。

実施日 9月10日（土）、11日（日）全2回

参加者 35人

講師 豊田路子氏（植物画家） 秋山幸也（当館学芸員）

（16）接近する火星を観測する集い

内容 口径40cm大型望遠鏡等を使用して接近する火星の姿を観察した。

実施日 10月30日（日）全1回

参加者 89人

講師 杉本芳秋（当館学芸員） 多田大介（当館職員） 平能克泰（当館指導主事）

（17）考古学講座「さがみはら縄文学習会 - 勝坂遺跡とその時代 - 」

内容 相模原が誇る縄文遺跡 - 勝坂遺跡を中心テーマに、遺跡の性格、研究史上の意義、遺跡の保存、勝坂式土器などについて考えた。

実施日 12月17日（日）～1月29日（日）全4回

参加者 延べ 90人

講師 河本雅人（当館学芸員）

（18）歴史講演会「津久井の歴史を知ろう」

内容 相模原市と津久井町・相模湖町の合併を契機に津久井の歴史を学ぶことにより、お互いの理解を深めた。

第1回「津久井の歴史・総論」

講師 神崎彰利（相模原市市史編さん室特別顧問）

第2回「中世の津久井」

講師 下山治久氏（津久井町史編集委員）

第3回「津久井の道と川」

講師 西川武臣氏（横浜開港資料館調査研究員 / 日本女子大学講師）

第4回「土平治一揆」

講師 原和之氏（あじさい大学講師 / 津久井町史専門調査員）

第5回「津久井人物伝」

講師 山口清氏（津久井史研究会会員）

実施日 2月4日（土）～3月18日（土）全5回

参加者 延べ 1,000人

（19）望遠鏡操作入門教室～初めてのスターウォッチング～

内容 天体望遠鏡（屈折望遠鏡）の基本的な操作を行い、自分で気軽に天体観測ができる技術を学んだ。

実施日 2月11日（土）

参加者 16人

講師 多田大介（当館職員） 平能克泰（当館指導主事） 星を観る会

（20）子ども天文教室

内容 天文の講話や実習を通じて、子どもたちへの天文学や自然科学への興味、関心を高めた。

実施日 3月4日（土）～25日（土）全4回

参加者 延べ 78人
講師 北里宏平氏(日本惑星科学会会員)、平能克泰(当館指導主事)

(21) 星空観望会

内容 季節に応じた天体観測により天文知識の普及を図る。
実施日 金曜日(雨天曇天時、プラネタリウム休止時などを除く)
参加者 794人(16回実施)
講師 当館天文担当学芸員、指導主事、プラネタリウム解説員

4 プラネタリウム・全天周映画

(1) 平成17年度観覧者合計 52,466人

(2) 一般投影(プラネタリウム)

内容 解説員による季節の星空解説と企画番組で構成(所要約50分)
番組 「南極 - ペンギンの見た星空 - 」
〔平成17年1月22日(土)〕~7月10日(日)
「失われた星座」
7月16日(土)~平成18年1月15日(日)
「原始生命はバクテリア - 太古からのメッセージ - 」
1月21日(土)~〔7月9日(日)〕
投影開始時間 平日...午後3時50分
土・日・祝日・特別上映期間...午後1時30分と午後3時50分
観覧者 19,404人

(3) 全天周映画

内容 大型フィルム使用の映画作品を上映(所要約50分)
番組 「ジェームスカメロンのタイタニックの秘密」
〔平成16年10月17日(日)〕~平成17年4月17日(日)
「T-REX」(特別上映)
〔平成17年3月26日(土)〕~4月3日(日)
「南太平洋のサンゴ礁 - コーラルリーフアドベンチャー - 」
4月20日(水)~10月10日(月)
「エベレスト」(特別上映)
7月21日(木)~8月31日(水)
「昆虫たちの不思議な物語 Bugs!」
10月16日(日)~〔平成18年4月16日(日)〕
上映開始時間 平日...午後2時40分
土・日・祝日・特別上映期間...午前10時50分と午後2時40分
観覧者 22,223人

(4) 学習投影

内容 小中学校、幼稚園・保育園の団体観覧用の番組
番組 小中学校向け「月の形と動き」
「星の動き(夏/冬)」
「太陽と惑星」
「太陽系の仲間たち」

「月の形と動き」
 幼児向け「うちゅうの七にんきょうだい」
 「ピーターパンのぼうけん」

投影時間 事前に利用団体と調整し、主に平日午前中に投影
 観覧者 10,839人

(5) 印刷物

プラネタリウム・全天周映画番組ごとに案内ポスター・パンフレットを作成

5 その他

(1) 情報サービスコーナー

ビデオ・DVDライブラリー作品年間視聴回数 計 1,219回
 CD-ROM文庫のソフト年間閲覧回数 計 104回

6 学校と博物館の連携進める研究会

(1) 趣旨 学校教育の場で児童・生徒の多様な学習要求に応じた幅広い学習活動充実のために、博物館の効率的かつ積極的な利用を図り、博物館の持っている機能を十分に生かす学校と博物館の連携のあり方を研究・協議する機関。

(2) 委員構成

氏名	備考
児玉 哲男	相模台小学校教諭 委員長
佐藤 久雄	田名中学校教諭 副委員長
古泉 弘一	大島小学校教諭
田中 治仁	小山小学校教諭
鈴木 由巳	大野台小学校教諭
廣田 正	並木小学校教諭
田口 雅代	大野台中学校教諭
今井 正巳	由野台中学校教諭

任期は平成16年7月1日～平成18年6月30日

(3) 任期 2年

(4) 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	6月17日(金)	「テーマ別学習シート」の検討 春季企画展見学
2	10月21日(金)	「テーマ別学習シート」の検討 秋季企画展見学
3	2月24日(金)	「テーマ別学習シート」の完成 活動のまとめ 学習資料展の見学

7 広報・出版等

(1) 印刷物・出版物

特別展・企画展・学習資料展のポスター・パンフレット等
 プラネタリウム・全天周映画のポスター・パンフレット等
 博物館NEWS (Vol. 39 ~ Vol. 42)
 特別展図録「地球46億年 顕微鏡で見る地球誕生のころ」
 報告書等「研究報告第15集」
 「境川流域民俗調査報告書」

(2) 有償刊行物一覧(平成18年3月31日現在)

博物館と市役所行政資料コーナーで販売

書名	価格	発行年月
特別展・企画展図録等		
郷土の巨匠・岩橋英遠展	1,000	7 11
江南の至宝	1,300	8 2
相模原の昆虫 - 身近にいる小さな仲間たち -	350	8 4
日本の宇宙開発	1,000	8 11
絵図から地形図へ - 近代地形図の誕生と発展 -	2,550	9 7
太陽系 - 母なる太陽とその家族を巡る -	700	9 11
浮世絵名品展	1,800	10 9
水生昆虫の世界 - 水の中の小さな虫たち -	1,200	11 7
描かれた農耕の世界	1,500	11 9
幕末・維新の相模原～村の殿様 旗本藤澤次謙と村人たち～	1,500	12 10
星の測量	700	13 7
”道”再発見 - 道の役割とその移りかわり -	1,500	13 10
昆虫のふしぎ	500	14 7
水晶ってすばらしい!	1,000	15 7
晃嶺の百花譜	1,500	16 7
相模原－その開発と変貌－	800	16 10
地球46億年	900	17 7
報告書等		
研究報告第7集 1998	800	10 3
研究報告第8集 1999	600	11 3
研究報告第9集 2000	550	12 3
研究報告第10集 2001	850	13 3
研究報告第11集 2002	850	14 3
研究報告第12集 2003	900	15 3
研究報告第13集 2004	900	16 3
研究報告第14集 2005	900	17 3
研究報告第15集 2006	1,050	18 3
相模原市民俗調査報告書 古山の生業と伝承	600	10 3
博物館資料調査報告書 大島地区の自然と文化	900	11 3
地図資料目録 相模原市作成の地図	1,000	11 3
地図資料目録 一般図・主大図・地形図	1,200	12 3

桐生亮コレクション標本目録	1,150	13	3
相模原市民俗調査報告書 大島・上矢部・田名・上溝・当麻地区の民俗	600	14	3
資料目録4 テフラ標本目録	850	15	3
資料目録5 相模原植物誌	600	15	3
古淵B遺跡旧石器時代資料再整理調査報告書	850	17	3
博物館所蔵古文書目録	900	17	3
境川流域民俗調査報告書	500	18	3
展示解説書			
常設展示解説書	1,000	8	11

(3) 他の機関等との関連

ポスター掲示

前述の各ポスターを、市各機関・近隣博物館等へ送付し、掲示を依頼した。

記事提供

広報さがみはら、相模原記者クラブ、新聞・雑誌・タウン誌等のメディアなどへ記事・パンフレットなどの情報を提供した。

放送番組ロケ

博物館を紹介するテレビ・ラジオ番組の取材に対応した。

8 博物館学芸員実習

学芸員資格習得のための実習として、9月6日～16日の実質8日間に17名を受け入れた。分野別受入大学は以下のとおり。

分野	学校名	人数
考古	創価大学	1
	日本大学	1
	東京女子大学	1
民俗	青山学院大学	1
	明星大学	1
	共立女子大学	1
動物	麻布大学	2
	東京工芸大学	1
植物	麻布大学	1
	東京農業大学	1
	横浜国立大学	1
地質	東京農業大学	1
	麻布大学	1
天文	東洋英和女学院	2
	専修大学	1
		17

9 学習利用

学校及びそれに類する団体の利用（プラネタリウム学習投影、展示学習、職業体験等）について、依頼に基づき博物館職員が対応した。

月	件数	人数
4月	6	376
5月	9	752
6月	31	2,678
7月	10	508
8月	2	157
9月	10	817
10月	24	913
11月	45	2,993
12月	21	1,784
1月	19	1,993
2月	40	3,121
3月	21	815
年計	238	16,907

10 博物館職員の講師派遣等

市内各公民館・小中学校等で実施される講座・研修等について、依頼に基づき博物館職員を講師として派遣した。（これに類するものも記載）

演題等	依頼者	月日	場所	担当
新採用職員研修「市の歴史」	市職員課職員研修室	4月7日	けやき会館	加藤隆志
自然環境観察員ガイダンス「タンポポのはなし」	市環境対策課	4月17日	けやき会館	秋山幸也
「プールの生きもの」	市立くぬぎ台小学校	6月2日	市立くぬぎ台小学校	守屋博文
「プールの生きもの」	市立当麻田小学校	6月7日	市立当麻田小学校	守屋博文
「戦争と相模原」	市立中央中学校	6月9日	市立中央中学校	大塚善行
「水の中の生き物について」	市立谷口台小学校	6月14日	市立谷口台小学校	守屋博文
「空を見上げると」	市立当麻田小学校	6月21日	市立当麻田小学校	平能克泰
「夜空を見よう」	市立弥栄小学校	6月22日	市立弥栄小学校	平能克泰
記念講演「相模川中流域の生物環境の多様性」	「さがみはら地域協議会」設立準備会	6月25日	相模原市民会館	秋山幸也
「星の観察」	市立作の口小学校	7月7日	市立作の口小学校	平能克泰
「川の生き物をさがそう」	境川の斜面緑地を守る会	7月9日	境川ひのき橋	守屋博文

平成17年度相模原市立博物館年報

「昆虫セミナー」	市立相模川ふれあい科学館	7月21日	市立相模川ふれあい科学館	守屋博文
「九沢周辺に残る文化遺産」	市立九沢小学校	7月22日	市内九沢地区	加藤隆志
「カブトムシを育てよう」	市立星が丘公民館	7月22日	市立星が丘公民館ほか	守屋博文
「星空観望会」	市立上溝南小学校	7月26日	市立上溝南小学校	平能克泰
教職員研修「相模川の生き物と環境」	座間市教育研究所	7月27日	相模川座架依橋	守屋博文
「麻溝地区の歴史について」	市立麻溝公民館	7月27日	市立麻溝公民館	加藤隆志
教職員研修「新戸地区歴史・民俗遺産」	市立新磯小学校	7月28日	市内新戸地区	加藤隆志
「昆虫セミナー」	市立相模川ふれあい科学館	7月29日	市立相模川ふれあい科学館	守屋博文
「星空観望会」	市立淵野辺小学校	8月3日	市立淵野辺小学校	平能克泰 多田大介
「自然観察指導員講習会」	市みどり対策課	8月5～7日	市立自然の村清流の里	秋山幸也
あじさい大学夏季公開講座	市高齢者福祉課	8月18日	ウエルネスさがみはら	平能克泰
「相模川の水生生物の採集と観察」	城山町教職員研修会実行委員会	8月23日	城山町立川尻小学校ほか	守屋博文
「親子星座観察教室」	市立大沼公民館	8月28日	市立大沼公民館	平能克泰
「近世の相模原市の歴史から田名を見つめる」	市立田名公民館	9月15日	市立田名公民館	上田幸枝
「相模原市の歴史について」	市生涯学習課文化財保護室	9月23日	相模原市民会館	河本雅人
「相模原市の自然について」	市生涯学習課文化財保護室	9月29日	相模原市民会館	守屋博文
「体験学習ガイダンス」	市立共和中学校	10月6日	市立共和中学校	平能克泰
「田名の成り立ち」	市立田名公民館	10月8日	市立田名公民館	河本雅人
日本民俗学会第57回年会	日本民俗学会	10月8、9日	東京大学駒場キャンパス	加藤隆志
「軍都計画」	市立東林公民館	10月14日	市立東林公民館	大塚善行
「河原の植物観察会」	相模原の環境をよくする会	10月15日	相模川自然の村	秋山幸也
「軍都計画」	市立東林公民館	10月21日	市立東林公民館	大塚善行
薬用植物セミナー「相模野が柴胡が原と呼ばれていた頃」	市農政課新都市農業推進室	11月5日	市立総合体育館	秋山幸也
「戦時中の相模原の暮らし」	市立大島小学校	11月17日	市立大島小学校	大塚善行
「境川の源流について」	市立宮上小学校	11月18日	境川源流	守屋博文
「境川の源流について」	市立宮上小学校	11月22日	境川源流	守屋博文
「上溝の自然、地域の歩みを学ぶ」	市立上溝小学校	11月25日	市立上溝小学校	秋山幸也
「親子自然観察会」	(財)相模原市みどりの協会	11月26日	横山公園ほか	秋山幸也
「望地用水路生物調査」	市農政課	12月2日	市内田名地区	守屋博文
「星の観察について」	市立陽光台小学校	12月2日	市立陽光台小学校	平能克泰

平成17年度相模原市立博物館年報

「星の観察」	市立陽光台小学校	12月6日	市立陽光台小学校	平能克泰 多田大介
「発見、体験、境川」	市立当麻田小学校	12月7日	市立当麻田小学校	秋山幸也
「4学年親子親睦会」天文工作	市立くぬぎ台小学校	12月8日	市立くぬぎ台小学校	平能克泰
「大地のようす」	市立橋本小学校	12月9日	市立橋本小学校	河尻清和
「星座の講話と天体観望会」	市立大沼公民館	12月10日	市立大沼公民館	平能克泰
「冬の星空観望会」	市立東林公民館	1月21日	市立東林公民館ほか	平能克泰 多田大介
「色とカタチにこだわる自然観察 - 麻溝の池と林 - 」	日野の自然を守る会	1月28日	県立相模原公園ほか	秋山幸也
「親子で見る冬の星空観望会」	市立星が丘公民館	1月28日	市立星が丘公民館ほか	平能克泰
「自然環境観察員環境セミナー」	市環境対策課	2月5日	けやき会館	秋山幸也
「境川の源流について」	市立宮上小学校	2月10日	境川源流	守屋博文
「冬の星空観望会」	市立上鶴間公民館	2月18日	市立上鶴間公民館	平能克泰
「愛川町の植物と生物の多様性」	愛川町教育委員会	2月22日	愛川町古民家山十郎	秋山幸也
「境川の冬の生き物・環境」	市立相原小学校	2月22日	市立相原小学校	守屋博文
環境講座「星空観望会」	市立大野南公民館	2月25日	市立大野南公民館ほか	杉本芳秋

他に(継続的なものとして)	担当
「相模原市史続編『民俗編』の調査」	加藤隆志
「相模原市史続編『自然編』の調査」	守屋博文、秋山幸也 河尻清和
「県博物館協会機能研究部会幹事としての諸事業」	秋山幸也
「神奈川県民俗芸能緊急調査詳細調査員としての諸業務」	加藤隆志
「横浜市市民協働による陸域生物相・生態系調査検討委員会の委員」	秋山幸也
「子どもが主体的に学び、科学が好きになるための教育システムの開発に関する実証的な研究」	河尻清和

1.1 展示活動協力員(ボランティア)

博物館活動に市民が参加する機会として、参加者を募集。前述の同講座により、博物館資料の扱い方を習得し、前述の特別展、企画展の展示作業などに参加した。

活動内容 夏季特別展 関連事業運営
 秋季特別展 展示準備作業、関連事業補助
 学習資料展 展示準備作業
 春季企画展 展示準備作業

登録者数 9人

資料管理

1 博物館収蔵資料点数（平成18年3月31日現在）

博物館収蔵資料点数リスト

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
考古	考古資料	考古資料収蔵庫等	5,580	箱	5,580
歴史	歴史資料	古文書収蔵庫	5,079	点	33,381
	歴史資料	生活資料収蔵庫	611	点	
	歴史資料	特別収蔵庫	2,526	点	
	古文書等市史資料	古文書収蔵庫	3,314	点	
	古文書等市史資料	特別収蔵庫	21,740	点	
	購入資料	特別収蔵庫	111	点	
民俗・ 地理	民俗・生活資料	生活資料収蔵庫・ 大型資料収蔵庫	16,593	点	23,722
	軍事資料		1,293	点	
	地図・写真資料	図面保管庫	5,836	点	
地質	化石資料	地質資料収蔵庫等	188	点	2,857
	岩石・薄片資料	地質資料収蔵庫等	652	点	
	テフラ資料	地質資料収蔵庫等	1,339	点	
	ボーリング資料	地質資料収蔵庫	323	点	
	砂礫・泥流堆積物資料等	地質資料収蔵庫等	279	点	
	文献	地質資料収蔵庫等	1	点	
	参考資料	地質資料収蔵庫	75	点	
動物	魚類	液浸標本収蔵庫	40	点	32,323
	昆虫類	動植物資料収蔵庫	32,077	点	
	小動物等	液浸標本収蔵庫	140	点	
	鳥類	動植物資料収蔵庫	61	点	
	哺乳類	動植物資料収蔵庫	5	点	
植物	乾燥標本等	動植物資料収蔵庫	19,492	点	19,498
	植物画資料	動植物資料収蔵庫	6	点	
天文	スライド等	フィルム収蔵庫	2,042	点	2,042
二次資料	図書・報告書等 (詳細は別途)	市民研究室等	33,463	点	36,830
	歴史関係図書類	古文書収蔵庫	3,367	点	
合計			156,233	点	

二次資料(図書・報告書等)点数リスト

市民研究室	
考古	6,559点
歴史	6,376点
民俗	2,242点
地理	2,474点
地質	1,152点

平成17年度相模原市立博物館年報

動物	2,003点
植物	444点
芸術	819点
博物館	5,795点
計	27,864点
天文研究室	
天文	600点
計	600点
情報コーナー	
図書	4,677点
ビデオテープ	248点
CD-ROMソフト	61点
DVDソフト	13点
計	4,999点
合計	33,463点

館内収蔵美術品・市史資料点数リスト

館内収蔵美術品（生涯学習課報）

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
美術品	絵画	美術品収蔵庫	385	点	1,311
	書	美術品収蔵庫	55	点	
	写真	フィルム収蔵庫	871	点	

館内収蔵市史資料（総務課市史編さん室報）

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
市史資料	行政資料	古文書収蔵庫	600	点	600

2 資料・収集保存

分野	内容
考古	故齋藤武一氏旧蔵資料の整理 移管・収蔵資料の整理
歴史	歴史資料の収集・整理及び未整理資料の整理
民俗	市域の民俗資料の収集及び未整理資料の整理・カード作成
地理	市域の生活資料・軍事資料の収集・整理 故貝塚爽平氏寄贈地図の分類・データ整理
動物	動物資料の収集及び収蔵資料の整理
植物	植物資料の収集及び標本の作製・整理 政木淑人コレクション植物標本の整理
地質	地質資料の収集及び標本の作製・整理、収蔵資料の整理 寄贈予定資料（火山灰、故貝塚爽平氏研究資料）の整理・データベース化

天文	星雲・星団・太陽画像の撮影 インターネットによる国立天文台ネットワーク等からの画像収集
情報	他博物館より送付されたパンフレット等の整理

3 購入資料

区分	内容
博物館資料	「江島道見取絵図（全1巻）」「甲州道分間延絵図（全9巻）」 「浦賀道見取絵図（全1巻）」「東海道分間延絵図（第3巻）」 「東海道分間延絵図（第4巻）」 「コノハムシ標本」「ジャワオオトビナナフシ標本」 「サカダチコノハナナフシ標本」「コノハチョウ標本」 「ムナビロカレハカマキリ標本」
学術雑誌	考古学ジャーナル、月刊むし、天文月報等の専門雑誌23種 （市民研究室、天文研究室で開架）
新刊書籍	市民研究室、天文研究室、情報サービスコーナーへの配架用として36冊。
ビデオソフト等	DVDソフト6本

4 有害生物管理の実施

（1）受入れ資料の燻蒸

8月上旬及び1月中旬の2回、受入れ資料を対象に洗浄乾燥室においてガス薬剤（エキヒュームS）を用いた密閉燻蒸を実施した。

（2）有害生物調査

通年にわたり、収蔵庫および作業室を対象に、各種トラップを用いて有害生物の侵入状況を調査した。

5 資料の特別利用

資料	区分	期間	申請者	目的
「航空写真」	館外貸出し	4月1日～6月30日	市資産税課	行政資料
「神文之事」	撮影	5月14日	読売新聞社	記事掲載
「相模原市構想鳥瞰図」	その他	5月25日	相模原郷土懇話会	出版物掲載
「中村遺跡旧石器資料」	撮影	5月26日	個人	論文作成
「迅速測図」ほか	模写	6月10日	個人	発表資料
「田名坂上遺跡出土奈良三彩小壺」	撮影	6月16日	市納税課	印刷物掲載
「大谷家」	撮影	6月19日	個人	教材利用
「航空写真」	館外貸出し	7月1日～9月30日	市資産税課	行政資料
「縄文土器」	その他	7月8日	個人	出版物掲載

平成17年度相模原市立博物館年報

「田名向原遺跡旧石器資料」	撮影	7月12～14日	個人	論文作成
「田名村絵図」	撮影	7月18日	スタジオラーク	ケーブルテレビ放送
「田名塩田遺跡群旧石器資料」	撮影	7月21日	個人	論文作成
「中村遺跡旧石器資料」	館外貸出し	7月26日～10月25日	市総務課市史編さん室	石材産地推定
「弘化3年彦左衛門一条控」	撮影	7月27日	個人	出版物掲載
「カヤツリグサ科標本」	閲覧	8月3日	個人	研究資料
「上中丸遺跡石器」ほか	撮影	8月5日	個人	研究資料
「橋本遺跡旧石器資料」ほか	撮影	8月11日	個人	論文作成
「田名向原遺跡旧石器資料」	館外貸出し	8月12日～10月12日	首都大学東京	資料分析
「大正坂出土顔面把手」ほか	撮影	8月16日	個人	研究資料
「田名向原遺跡旧石器資料」	館外貸出し	8月26日～28日	市生涯学習課文化財保護室	展示会資料
「コンロ」ほか	撮影	8月27日	エムスリー	出版物掲載
「氷冷蔵庫」ほか	撮影	8月31日	大和市つる舞の里歴史資料館	出版物掲載
「航空写真」	館外貸出し、その他	8月31日	市公園課	資料作成
「淵野辺村絵図」ほか	撮影	9月16日	スタジオラーク	ケーブルテレビ放送
「ゾウカブト」ほか	撮影	9月22日	山と溪谷社	出版物掲載
「縄文土器」	館外貸出し	9月27日～10月7日	県立弥栄東高校	講座資料
「ジョレン」ほか	館外貸出し	9月30日	市立向陽小学校	授業教材
「航空写真」	館外貸出し	10月1日～12月31日	市資産税課	行政資料
「横浜周辺外国人遊歩規定範囲図」	閲覧	10月6日	まちだ史考会	研究資料
「田名向原遺跡旧石器資料」	館外貸出し	10月13日～12月13日	首都大学東京	資料分析
「勝坂式土器写真」	館外貸出し	10月20日～11月6日	市相模原市民ギャラリー	出版物掲載
「田名向原遺跡写真」	館外貸出し	10月26日～11月6日	毎日映画社	教材ビデオ撮影
「電気炊飯器」ほか	館外貸出し	10月29日	大和市つる舞の里歴史資料館	展示資料ほか
「田名塩田遺跡群出土資料」	撮影	11月1日	個人	論文作成
「化石」	館外貸出し	10月26日～11月9日	市立麻溝小学校	授業教材
「勝坂遺跡45次調査資料」	撮影	11月18日	個人	研究資料
「念仏帳面」	模写	12月10日	個人	研究資料
「下溝出土石棒」	撮影	12月20日	個人	論文作成

平成17年度相模原市立博物館年報

「航空写真」	館外貸出し	1月1日～3月31日	市資産税課	行政資料
「相模野周辺36か村入会絵図ポジ」	館外貸出し	1月12日～2月28日	市総合学習センター	出版物掲載
「湯たんぼ」ほか	館外貸出し	1月27日	市立若松小学校	授業教材
「神文之事、序目録プリント」ほか	館外貸出し	2月3日～28日	市文化財保護室	印刷物掲載
「人工アメシスト」ほか	館外貸出し	2月11日～〔6月30日〕	千葉県立中央博物館	展示資料
「地形図」	模写	2月19日	個人	土地利用調査
「地形図」	模写	2月23日	個人	研究資料
「相模国高座郡当麻村地図15」	閲覧	2月24日	個人	研究資料
「航空写真」	閲覧	3月9日	個人	土地利用調査
「中村遺跡旧石器資料」ほか	閲覧	3月9日	個人	論文作成
「航空写真」	閲覧、その他	3月9日	三菱UFJ不動産販売	調査資料
「地券請印簿」ほか	撮影、閲覧	3月10、15日	個人	印刷物掲載
「軍服と軍帽」ほか	館外貸出し	3月14日	市立中央中学校	授業教材
「縄文土器」	館外貸出し	3月16～31日	県立弥栄東高校	講座資料
「陸軍撮影空中写真」	閲覧	3月23日	個人	研究資料

調査研究

分野及び調査者	内容
考古資料の調査 河本 雅人	市域及び周辺の縄文時代資料調査
歴史資料の調査 上田 幸枝	市域及び周辺地域の古文書等歴史資料調査
民俗資料の調査 加藤 隆志	市域及び周辺地域における石仏及び道祖神信仰調査 未発表民俗調査のデータ整理、町田市博物館職員ほかとの境川流域調査
地理資料の調査 大塚 善行	収蔵品展開催に伴う資料調査
動物資料の調査 守屋 博文	田名塩田の湿岩環境に生息している水生昆虫の調査 市域内の昆虫相の調査
植物資料の調査 秋山 幸也	市内における高等植物の分布状況の調査 市内及び周辺地域の緑地の植生構造調査
地質資料の調査 河尻 清和	相模川流域の地質調査 火山灰資料調査
天文資料の調査 杉本 芳秋 平能 克泰 多田 大介	カシオペア座TW星の光電測光観測 天文カリキュラムにおけるプラネタリウム

相模原市立博物館

発行 平成 18 年 4 月 1 日

住所 〒229-0021 相模原市高根 3 - 1 - 15

TEL 042 - 750 - 8030

FAX 042 - 750 - 8061

e-mail hakubutsukan@city.sagamihara.kanagawa.jp

URL <http://www.remus.dti.ne.jp/~sagami/index.htm>